

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年04月03日

IHIグループ健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	20490
組合名称	I H I グループ健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

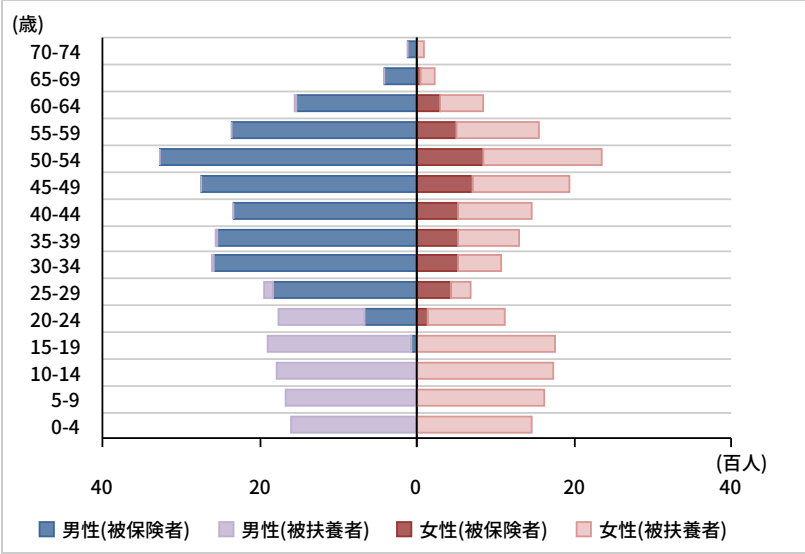
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	25,279名 男性82% (平均年齢44.07歳) * 女性18% (平均年齢43.93歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	48,357名	-名	-名
適用事業所数	48カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	400カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	94% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	4	0	-	-	-	-
事業主	産業医	14	32	-	-	-	-
	保健師等	46	6	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	19,488 / 21,493 = 90.7 %	
	被保険者	14,989 / 15,454 = 97.0 %	
	被扶養者	4,499 / 6,039 = 74.5 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	2,172 / 3,405 = 63.8 %	
	被保険者	1,986 / 3,032 = 65.5 %	
	被扶養者	186 / 373 = 49.9 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	207,141	8,194	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	94,260	3,729	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	60,071	2,376	-	-	-	-
	疾病予防費	246,128	9,736	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	190,195	7,524	-	-	-	-
	その他	530	21	-	-	-	-
	小計 …a	798,325	31,581	0	-	0	-
経常支出合計 …b	18,355,809	726,129	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.35	-	-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	80人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	667人	25～29	1,824人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2,573人	35～39	2,531人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,331人	45～49	2,753人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,278人	55～59	2,345人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,530人	65～69	403人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	103人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	10人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	144人	25～29	427人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	515人	35～39	527人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	536人	45～49	713人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	853人	55～59	506人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	290人	65～69	40人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,590人	5～9	1,678人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,781人	15～19	1,832人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,088人	25～29	113人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	30人	35～39	15人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5人	45～49	7人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	10人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	16人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	1,452人	5～9	1,614人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,730人	15～19	1,771人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	979人	25～29	249人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	550人	35～39	787人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	937人	45～49	1,230人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,519人	55～59	1,045人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	558人	65～69	191人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	83人			70～74	-人			70～74	-人		

※グラフ数値は、令和6年2月末の実績数値を使用。

### 基本情報から見える特徴

1. グラフ値の被保険者数（強制のみ）は、24,989人、被扶養者数22,871人、扶養率は0.92である。
2. 被保険者の構成割合は、I H Iが10,185人で約4割（40.7%）、I H Iグループ会社が14,804人で約6割（59.3%）である。
3. 事業主は、全国に拠点を有しており、加入者も点在している。なお、対象となる拠点数は事業所数の増減が多いため概数とした。
4. 加入者数は、男女ともに50歳前半が最も多い。

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- ・特定健診および特定保健指導の実施率は、国の示す目標実施率を上回る結果となった。
- ・後期高齢者支援金の減算対象保険者に3年連続で該当
- ・医療費分析の結果、40歳未満の若年層に医療費増加傾向が見られるため、若年層（30代）についても疾病予防を強化していく（特定保健指導の流入者を防ぐ）
- ・コロナの影響等により、受診率が一時的に低下。さらに、受診奨励を強化していく。
- ・医療費が増加傾向にあるため、一次健診のみならず二次健診を実施し重症化予防に努める。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

特定健康診査事業	医療費データ情報提供
----------	------------

#### 加入者への意識づけ

特定保健指導事業	IHIグループ健康チャレンジキャンペーン
保健指導宣伝	ホームページ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	IHIグループ総合健診 特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	IHIグループ総合健診 特定健診（被保険者）
特定保健指導事業	IHIグループ健康サポート特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	IHIグループ健康サポート特定保健指導（被扶養者）
特定保健指導事業	IHIグループ健康サポート個別サポート（被扶養者）
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
疾病予防	IHIグループ総合健診 前立腺がん検査（被保険者）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	自治体がん検査
疾病予防	電話健康相談
疾病予防	IHIグループ総合健診 基本健診+選択できる検査（被扶養者）
疾病予防	IHIグループ総合健診 婦人科検査（被保険者） 選択できる検査（任意継続被保険者）
直営保養所	直営保養所
その他	契約保養所

#### 事業主の取組

1	定期健康診断
2	就業措置基準に基づく健康診断事後措置
3	メンタルヘルス対策（ディフェンス）
4	メンタルヘルス対策（オフense）
5	海外赴任者の健康管理
6	長時間労働に伴う健康障害の防止
7	喫煙対策
8	ストレス診断
9	治療と職業生活の両立支援
10	一人ひとりの主体的な自己健康管理の推進

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
特定健康診査事業	2	医療費データ情報提供	【目的】 コラボヘルス（事業主との協働） 【概要】 加入者の疾病予防および健康づくりにつながる情報を共有化し、事業主と協力関係を深める	全て	男女	18～74	被保険者	0	・適用事業所47社78事業所に対し、医療費データ情報提供を実施。 ・在籍者数200名以上の事業所は、該当事業所単独データとIHIグループ全体データを提供 ・その他の事業所は、IHIグループ全体データのみ提供	・医療費データ情報を事業所担当へ提供し、医療費の適正化を図った。	・個人の特定を避けるため、提供する医療費データが限定される。（当組合は、200名以上の事業所が対象）	5
加入者への意識づけ												
特定保健指導事業	2	IHIグループ健康チャレンジキャンペーン	【目的】 ・ポピュレーションアプローチの一環として実施 ・要管理者だけでなく、リスクの低い人や若い世代を含めた全体に働きかけることで、健康への意識を高める 【概要】 ・三者協賛（会社・労組・健保）で、健康文化をつくる取り組みとして、健康ポータルサイト「Pep Up」を活用し、健康習慣のきっかけづくりを支援するウォーキングラリーなどのキャンペーンを実施	全て	男女	18～74	被保険者	25,845	(R4年度) 被保険者 A 対象者数：25,407名 B PepUp登録者数：16,293名 C 参加者数：7,103名 C/A 全体参加率：28.0% B/A 登録者参加率：43.6% D 達成者数：5,361名 D/C 達成率：75.5%	・参加奨励を実施 ・各社に途中データを提供し会社側からも参加奨励を実施 ・結果の分析とフィードバック ・苦勞した点、改善点等について、次年度の企画に反映 ・インセンティブの付与	・ウォーキングラリー以外に、各事業所が独自にイベントを実施している。支援要請が当方にきており、複数社となると対応しきれないため、事業所と委託先で直接契約してもらう方式に変更していく。  ・ウォーキングラリーは好評のため、R6年度以降は年2回実施を検討していく。	4
保健指導宣伝	8	ホームページ	【目的】 健康保険制度や健保事業の情報発信 【概要】 健保事業運営全般のPRや各種届出帳票をダウンロードにより提供	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1,510	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・NEWS&TOPICSで最新情報を提供し、随時更新し、健康維持増進のPRに努めている。	・ホームページ利用者の拡大（サイト誘導施策） ・定期的に利用できるコンテンツの提供	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	IHIグループ総合健診特定健診（被扶養者）	【目的】 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症等）の発症、重症化や合併症への進行予防 【概要】 巡回方式と指定医療機関方式の選択制で実施	全て	男女	40～74	被扶養者	50,390	(R4年度) 対象者数：6,039名 受診者数：4,499名 受診率：74.5% (目標70%キープ)	・案内の自宅発送 ・受けられない理由を回答してもらい、申込み状況を把握し、受診勧奨策を展開できた。 ・未回答者へSMSを利用した受診奨励 ・対象年齢を満たす場合は、自己負担なし	・未回答者への対応 ・地域により指定医療機関の数にバラつきがある。	5
	3	IHIグループ総合健診特定健診（被保険者）	【目的】 生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症等）の発症、重症化や合併症への進行予防 【概要】 事業主が実施する定期健診に、特定健診項目を付加して実施（任意継続被保険者を除く）	全て	男女	40～74	被保険者	0	(R4年度) 対象者数：15,454名 受診者数：14,989名 受診率：97.0%	・紙データは健保で受領し、外部委託先へ電子データ変換依頼。 ・除外対象者の確認を徹底。	・健診結果は、事業主との契約に基づき電子データで授受しているが、一部の事業所は紙データによる授受となっている。	5
特定保健指導事業	4	IHIグループ健康サポート特定保健指導（被保険者）	目的] 特定健診の結果により、健康の保持増進に努める必要があると判定された場合、特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき、動機づけ支援・積極的支援を実施 【概要】 ・事業主および外部専門業者へ委託して実施 ・対象者はリスト化して、事業主および外部専門業者へ定期的に送付	全て	男女	40～74	被保険者, 基準該当者	17,091	(R4年度) 【全体】 ・対象者数：3,032名 ・終了者数：1,986名 ・実施率：65.5% 【動機付け支援】 ・対象者数：1,297名 ・終了者数：953名 ・終了者数(動機づけ支援相当)：68名 ・実施率：73.5% 【積極的支援】 ・対象者数：1,735名 ・終了者数：965名 ・実施率：55.0%	・事業主の協力により、就業時間中に実施	・初回面談から6ヵ月後評価まで継続させること	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	IHIグループ健康サポート特定保健指導(被扶養者)	【目的】 特定健診の結果により、健康の保持増進に努める必要があると判定された場合、特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき、動機づけ支援・積極的支援を実施 【概要】 ・健保の保健師および外部専門業者へ委託して実施	全て	男女	40～74	被扶養者,基準該当者,任意継続者	4,933	(R4年度) 【全体】 ・対象者数：373名 ・終了者数：186名 ・実施率：49.9% 【動機付け支援】 ・対象者数：271名 ・終了者数：146名 ・実施率：53.9% 【積極的支援】 ・対象者数：102名 ・終了者数：40名 ・実施率：39.2% [任継者含む]	・案内の自宅発送および電話連絡 ・案内電話の外部委託(休日等)	・生活習慣改善に対する理解を深める	3
	4,6	IHIグループ健康サポート個別サポート(被扶養者)	【目的】 健診結果に基づく個別支援を中心に、対象者の多様な生活実態や健康意識に引き合い、当組合独自の手法を取り入れて実施 【概要】 ・健保の保健師および外部専門業者へ委託して実施  (アプローチ方法) 文書、電話、面談、メール等	全て	男女	20～39	被扶養者,基準該当者,任意継続者	774	(令和4年度) 対象者数：48名 [任継者含む]	・案内の自宅発送および電話連絡 ・案内電話の外部委託(休日等)	・生活習慣改善に対する理解を深める	3
保健指導 宣伝	5	医療費通知	【目的】 医療費に関する意識向上 【概要】 通知内容：医療機関名、支払った医療費等 健康ポータルサイト「Pep Up」で毎月25日に配信	全て	男女	0～74	基準該当者	0	健康ポータルサイトで毎月25日に配信	電子化により加入者の保管面でも紛失のリスクが減った。	通知目的の周知(如何に自身の医療費を意識してもらうか)	4
	8	ジェネリック差額通知	【目的】 ・医療費に関する意識向上 ・ジェネリック医薬品への切り替え促進 【概要】 通知内容： ・新薬との差額 ・ジェネリック取扱い薬局紹介 発行：健康ポータルサイト「Pep Up」にて配信(紙通知は休止中)	全て	男女	0～74	基準該当者	0	・ジェネリック医薬品使用率：84.3%	・がん、精神疾患を除く、全ての疾病を対象 ・Pep Upによる差額通知は浸透しており、大幅に使用率が向上している	・通知内容(情報)の見直しを検討し、より関心を持ってもらえる情報を提供。	5
疾病 予防	3	IHIグループ総合健診 前立腺がん検査(被保険者)	【目的】 ・疾病の早期発見と早期治療 ・検査項目：前立腺がん 【概要】 ・事業主が実施する定期健診と同時実施	全て	男性	50～74	被保険者	11,089	(R4年度) 対象者数：7,651名 受診者数：6,983名 受診率：91.3%	・事業主の協力により、定期健康診断時に実施(採血した血液を利用できる) ・対象年齢を満たす場合は、自己負担なし	・事業主の健康管理システムに登録されていない事業所の結果が、通常の健診結果とは別に自宅への郵送となる。	5
	3	人間ドック	【目的】 総合健診の補完的役割として、基本健診のほかオプション検査(脳ドック、婦人科など)についても、全国の健康保険取扱い医療機関で受診した場合、費用の一部を補助する。 【概要】 費用の70%(含む消費税)を補助する。ただし、補助の限度額は年度内26,000円(含む消費税)とする。	全て	男女	0～74	加入者全員	14,169	(R4年度) 利用者数 ・被保険者：700名 ・被扶養者：74名	・年齢制限が無い ・健康保険取扱い医療機関であれば、どこでも受診できる ・オプション検査のニーズに対応できる	・リピーターが多い ・電子申請や電子決裁の時代で、事前申請と手作業による振込処理など、事務作業面ではタイトな事業である。	4
	3	自治体がん検査	【目的】 総合健診の「選択できる検査」と同じ検査項目の自治体がん検査を受診した場合、費用の全額を補助する。 【概要】 受診費用の全額を補助	全て	男女	20～74	加入者全員	18	(R4年度) 利用者数 ・被保険者：13名 ・被扶養者：1名	受診者の利便性の向上	自己負担額が少ないケースが多く、申請率が低い	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	6	電話健康相談	【目的】 健康管理充実の一助として、電話やインターネットで気軽に心身の健康や医療について相談できる窓口として設置 【概要】 「健康相談（海外対応）」、「メンタルヘルスカウンセリング」、「ベストドクターの受診案内」等、単なる健康情報の提供だけではなく、メンタル・医療機関情報・育児・介護相談等、幅広く相談できるサービス体制	全て	男女	0～74	加入者全員	4,168	(R4年度) 利用者数 ・電話健康相談：398件 ・メンタル電話相談：90件 ・メンタルカウンセリング：23件  ・全国162カ所にカウンセリングルームを設置 ・プライバシー完全厳守	・専門家のアドバイスにより、健康に関する様々な不安や心配を解消することができる ・電話相談は、専門家が24時間・365日対応 ・全国162カ所にカウンセリングルームを設置 ・プライバシーの完全厳守	効果測定ができない	2
	3	IHIグループ総合健診 基本健診+選択できる検査（被扶養者）	【目的】 ・疾病の早期発見と早期治療 ・基本健診の検査項目は特定健診に準ずる。 ・選択できる検査：肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、骨密度、B型C型肝炎 【概要】 巡回方式と指定医療機関方式の選択制で実施	全て	男女	20～74	被扶養者	114,122	(R4年度) ・対象者数：8,444名 ・受診者数：5,045名 ・受診率：59.7%  [任継者含む]	・案内の自宅発送 ・未回答者へSMSを利用した受診奨励 ・対象年齢を満たす場合は、自己負担なし	・コロナの影響により、大幅に受診率が減少した。特に若年層の健診ばなれが著しく、受けない理由を確認しても回答すらない状況。 ・地域により指定医療機関の数にバラつきがある	4
	3	IHIグループ総合健診 婦人科検査（被保険者） 選択できる検査（任意継続被保険者）	【目的】 ・疾病の早期発見と早期治療 ・検査項目：乳がん、子宮がん、骨密度、B型C型肝炎 【概要】 巡回方式と指定医療機関方式の選択制で実施（男性は指定医療機関のみ）	全て	男女	20～74	被保険者	31,381	(R4年度) 女性被保険者 ・対象者数：4,599名 ・受診者数：1,898名 ・受診率：41.3% 【任意継続被保険者含む】	・案内の自宅発送 ・未回答者へSMSを利用した受診奨励 ・対象年齢を満たす場合は、自己負担なし	・コロナの影響により、大幅に受診率が減少した。特に若年層の健診ばなれが著しく、受けない理由を確認しても回答すらない状況。 ・未回答者への対応 ・事業所により受診者数の数にバラつきがある ・キャンセル者への対応	4
直営保養所	8	直営保養所	【目的】 ・リフレッシュ ・研修 ・家族や職場の仲間との懇親を深める ・健康増進 【概要】 ・被保険者および被扶養者の保養 ・被保険者、三親等以内家族、OB、被保険者同行のもと一般人が利用可能	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	100,013	直営保養所2カ所 ・IHIグループ伊豆高原荘：収容40名 ・IHIグループ蓼科山荘：収容68名  (R4年度) 利用者数 ・IHIグループ伊豆高原荘：3,326名 ・IHIグループ蓼科山荘：3,011名	IHIグループ伊豆高原荘 ・都心から比較的近い ・風光明媚な立地 ・温泉  IHIグループ蓼科山荘 ・スキー場が近接している立地 ・露天風呂	・両保養所とも老朽化が著しいため、中長期的な設備計画に基づき補修・更新していく。 ・利用者促進のため、特に被保険者とその家族が利用してもらうよう、PRを強化していく。 ・保留となっている土地問題やその他案件について、整理していく。	3
その他	8	契約保養所	【目的】 ・リフレッシュ ・家族や職場の仲間との懇親を深める 【概要】 ・被保険者および被扶養者の保養 ・契約保養所（四季倶楽部、その他）を利用者が予約し、現地精算時に利用料から補助金額を差し引く ・被保険者、被扶養者が利用可能	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	444	(R4年度) 契約保養所 ・四季倶楽部：209名 ・その他契約施設：10名	・希望に沿った施設が選べる	・リピーターが多い	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

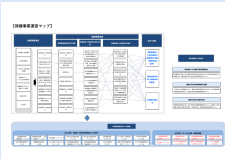
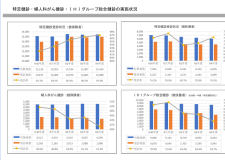




注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%



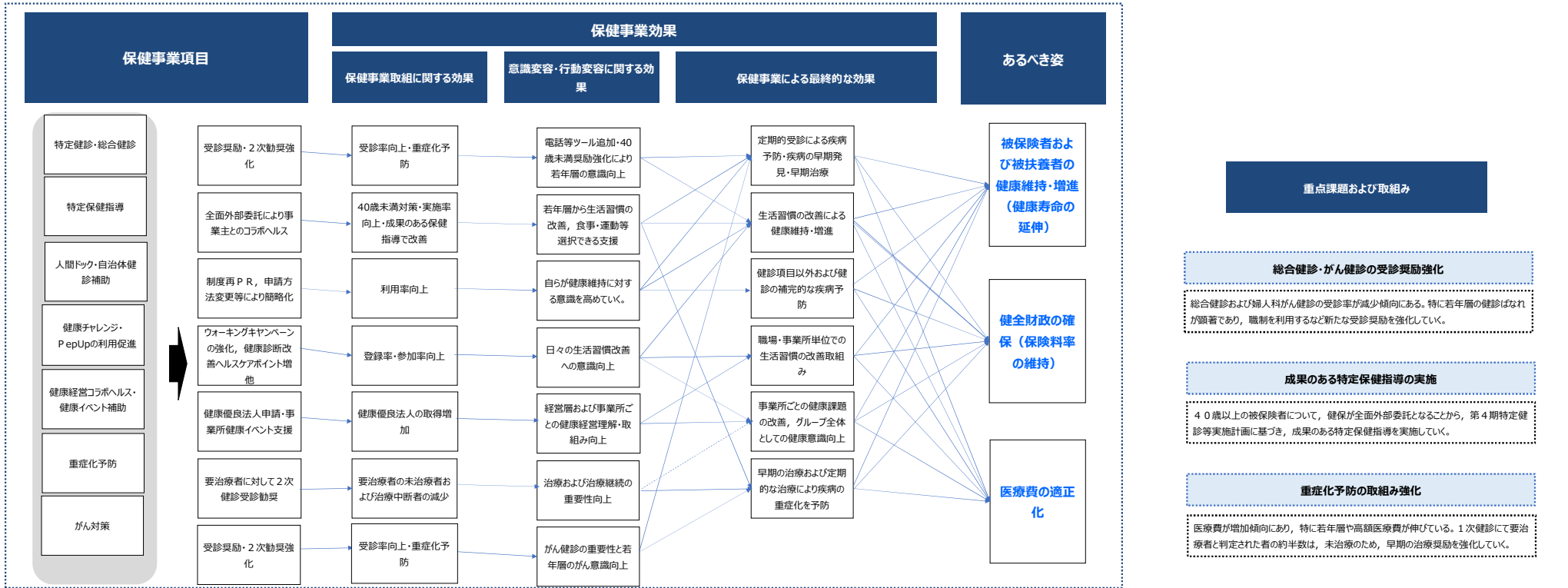
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18～64 通年健診または集団健診 IHI独自の健診項目（尿酸値は全年齢、入社時・35歳で心電図、40歳以上任意で胃バリウム検査と大腸検査） R4年度 ・受診率：96.0% ・有所見率：72.0%	-	-	-	無
就業措置基準に基づく健康診断事後措置	従業員の健康の増進および健康障害の防止を図ることを目的として、健康診断において、以下のいずれかに該当する場合には、会社は産業医の意見を踏まえ、就業上の措置を講じることがある。	被保険者	男女	18～64 該当者は前年度に比べ大きな変動なし。	-	-	・対象者のフォロー ・メタボ該当者への保健指導の強化	無
メンタルヘルス対策（ディフェンス）	メンタルヘルス（ディフェンス：健康リスクの高い職場の改善、不調者への的確な対応）対策の徹底	被保険者	男女	18～64 ・メンタル不調者への対応について、システム的な対応が不十分なケースもあった。	健康リスクの高い職場に対しては、関係部門が連携してフォローした。	-	・関係部門連携による健康リスクが高い職場の改善計画策定と実行 ・メンタル不調者対応ガイドラインのグループ展開	無
メンタルヘルス対策（オフェンス）	メンタルヘルス（オフェンス：働きやすい職場づくり、ストレスに強い心の育成）対策の推進	被保険者	男女	18～64 健康度調査やストレスチェックを活用した職場環境改善、アンガーマネジメント教育、グッドコンディション研修、上司力アップ研修、人間関係づくりセミナー等を実施したが、一部事業所・関係会社では未実施。	各種研修・セミナーの実施	-	・異動者等に対する職場環境変化への適応支援 ・一人ひとりがいきいきと活躍できる職場環境づくり	無
海外赴任者の健康管理	出張・駐在・工事派遣などで、6か月以上、本邦外の地域に派遣され勤務することが見込まれる従業員および帯同家族の健康管理について必要な事項を定める。	被保険者	男女	18～64 ・海外赴任時や赴任中および一時帰国時や帰国時に健診を実施 ・規定と運用実態の乖離部分について見直しを実施	・現地訪問による支援 ・規定の見直し	-	長時間労働に伴う健康障害の防止	無
長時間労働に伴う健康障害の防止	時間外労働に伴う健康障害防止対策実施基準に基づく健康管理	被保険者	男女	18～64 ・毎月管理 ・働き方改革の視点からの健康教育を実施	教育実施	-	・働き方改革と連携した対策の実施 ・現地工事出張者への支援	無
喫煙対策	受動喫煙防止対策	被保険者	男女	18～64 ・各事業所で対策を実施 ・世界禁煙デーに合わせた禁煙キャンペーンを展開	禁煙キャンペーンの展開	-	・対策実施について一部事業所で課題あり ・禁煙希望者絵の支援 ・受動喫煙ゼロに向けた対策の強化	無
ストレス診断	各部署ごとにストレス状況の調査（5名以上の部署のみで実施）	被保険者	男女	18～64 実施率：97.0% 高ストレス者率：9%	-	-	-	無
治療と職業生活の両立支援	反復・継続して治療が必要となる疾病を抱える従業員に対して、適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行い、治療と職業生活が両立できるように支援する。	被保険者	男女	18～64 各事業所で窓口を開設、社内ホームページ等を通じてPRを実施。	-	-	・相談窓口の利用促進 ・環境施設面での課題（多目的トイレの整備等）	無
一人ひとりの主体的な自己健康管理の推進	一人ひとりの健康度向上による職場の活性化	被保険者	男女	18～64 ・健康チャレンジキャンペーンは、健康イベントとして実施。 ・各種健康教育、体力測定などの取組を実施。	健康イベントの開催等	-	・健康保険組合のデータヘルス計画と連携した健康施策の推進 ・健診や健康イベント等を活用した健康的な生活習慣形成の促進	有

# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		①保健事業運営マップ	その他	-
イ		②特定健診・総合健診の実施状況（H30年度～R4年度）	特定健診分析	-
ウ		③特定保健指導の実施状況（H30年度～R4年度）	特定保健指導分析	-
エ		④各種がん検査の分析（R元年度～R3年度）	医療費・患者数分析	-
オ		⑤健診・問診レーダーチャート（R2年度～R4年度）	健康リスク分析	-
カ		⑥生活習慣病医療費推移（R2年度～R4年度）	医療費・患者数分析	-

# 【保健事業運営マップ】



## 保健事業実績および目標値

### 2022年度 実績値（詳細は保健事業カルテ参照）

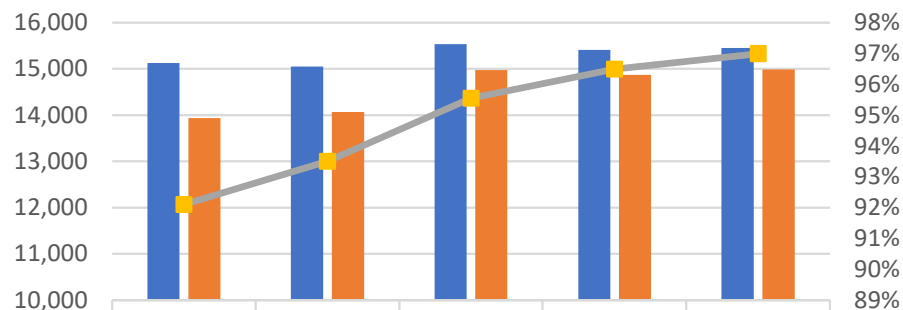
特定健診受診率 (被保険者) : 9.7%	特定健診受診率 (被扶養者) : 74.5%	総合健診 : 59.7%	婦人科がん健診受診率 41.3%	前立腺がん健診受診率 91.3%	受診奨励件数 5,007件	パート先他データ提供率 49.2%	人間ドック利用件数 774件
自治体健診補助件数 14件	健康電話相談件数 398件	メンタル相談 (かたがひ含む) 113件	特定保健指導実施率 (被保険者) 65.5%	特定保健指導実施率 (被扶養者) 49.9%	Pep Up登録率 66.6%	重症化予防治療奨励受診率 11.5%	ジェネリック医薬品使用率 84.3%

### 第三期データヘルス計画 最終目標値

特定健診受診率 (被保険者) 98.0%	特定健診受診率 (被扶養者) 77.5%	特定保健指導実施率 (被保険者) 68.5%	特定保健指導実施率 (被扶養者) 52.5%
総合健診 : 75.0%	婦人科がん健診受診率 55.0%	重症化予防治療奨励受診率 14.5%	Pep Up登録率 72.5%

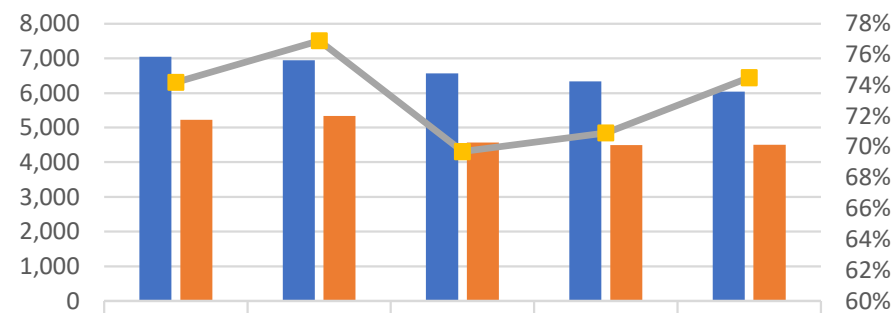
# 特定健診・婦人科がん健診・IHIグループ総合健診の実施状況

## 特定健診受診状況（被保険者）



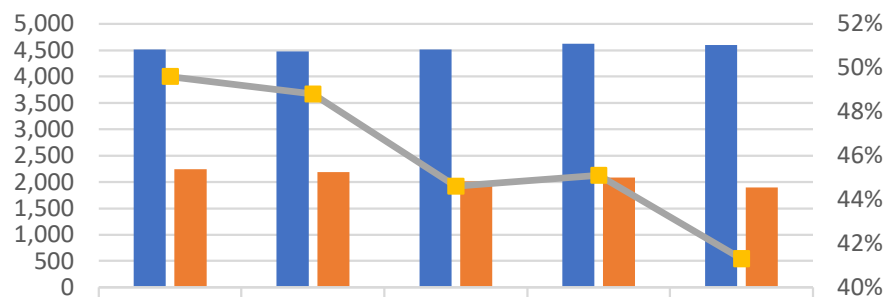
対象者数	15,126	15,052	15,534	15,407	15,454
受診者数	13,937	14,069	14,970	14,865	14,989
受診率	92.1%	93.5%	95.5%	96.5%	97.0%

## 特定健診受診状況（被扶養者）



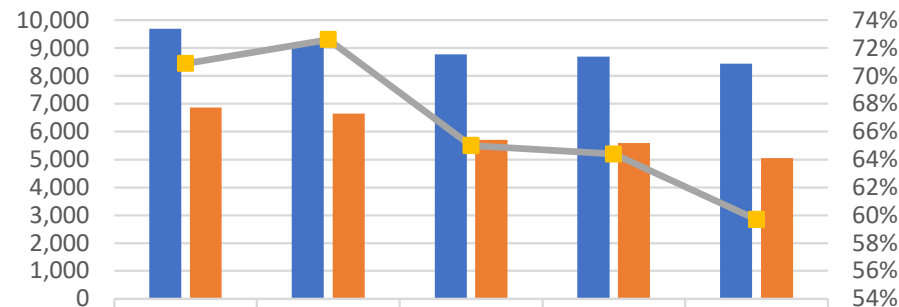
対象者数	7,044	6,940	6,561	6,332	6,039
受診者数	5,227	5,337	4,571	4,491	4,499
受診率	74.2%	76.9%	69.7%	70.9%	74.5%

## 婦人科がん健診（被保険者）

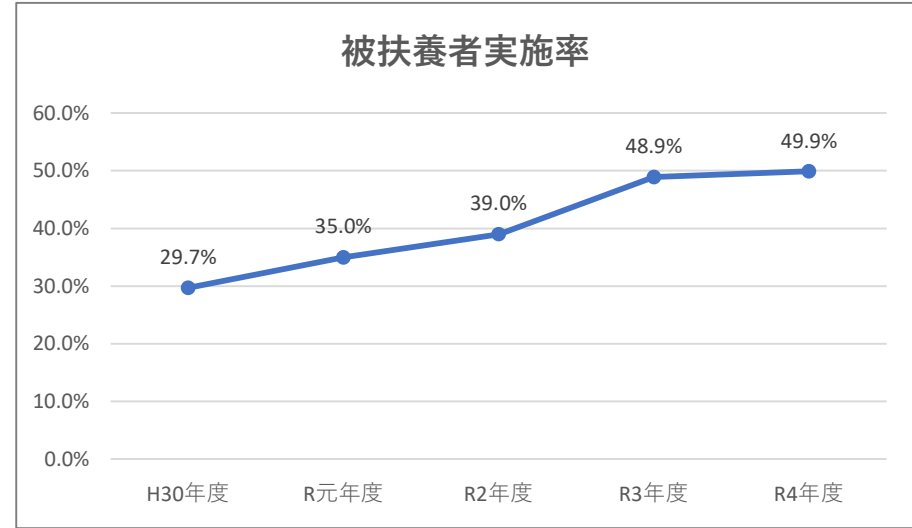
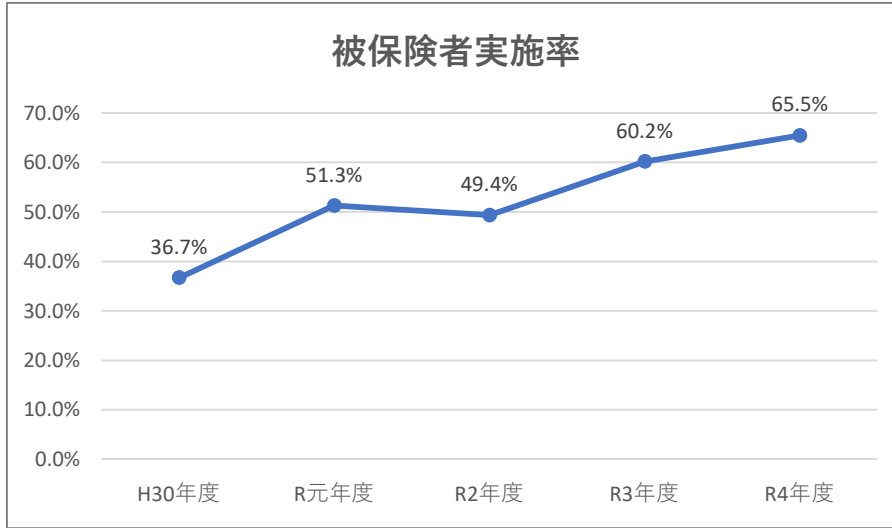


対象者数	4,512	4,474	4,510	4,625	4,599
受診者数	2,238	2,185	2,013	2,088	1,898
受診率	49.6%	48.8%	44.6%	45.1%	41.3%

## IHIグループ総合健診（被扶養者） ※20歳～74歳（特定健診含む）



対象者数	9,696	9,155	8,770	8,692	8,444
受診者数	6,870	6,645	5,701	5,595	5,045
受診率	70.9%	72.6%	65.0%	64.4%	59.7%

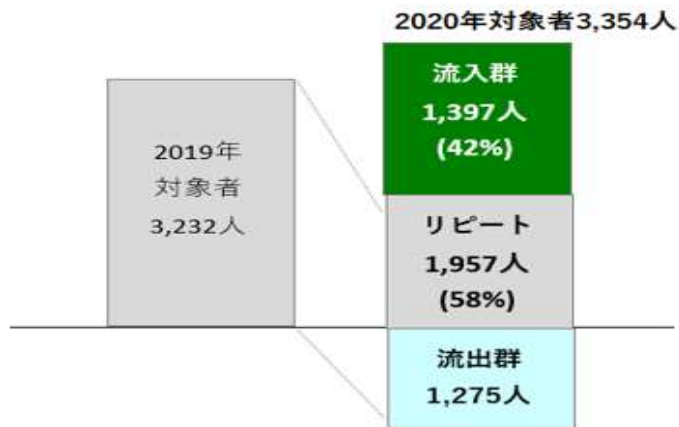


## I) 2020年度の実施状況

### i) 対象者数(被保険者のみ)

【対象者数(N)】	構成比	内 受診動奨(D判定)値該当者
■ 全体:		626 名
■ 積極的支援:	56.5%	438 名
■ 動機付け支援相当:	1.8%	14 名
■ 動機付け支援:	41.7%	174 名

19%



#### 流入群の内訳

悪化	62%
リバウンド	22%
新40歳	11%
服薬中断	5%

#### 流出群の内訳

改善	45%
服薬	38%
流出	17%



流入群と流出群を比較すると、流入群が流出群より**122人**多い



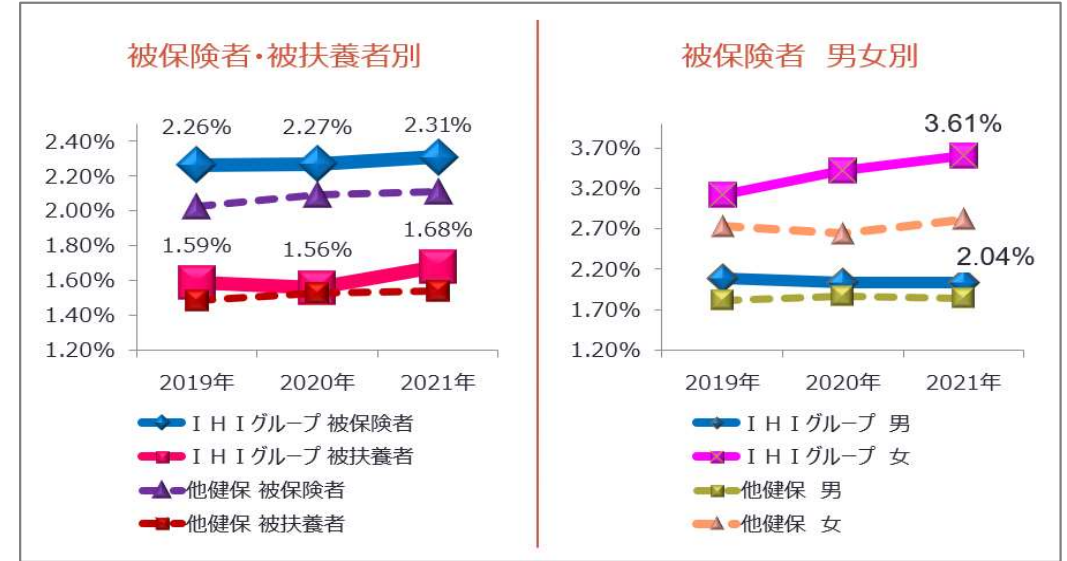
流入群の内訳を見ると、41歳以上の悪化による流入が全体の**62%**を占めている

# 各種がん検査の分析

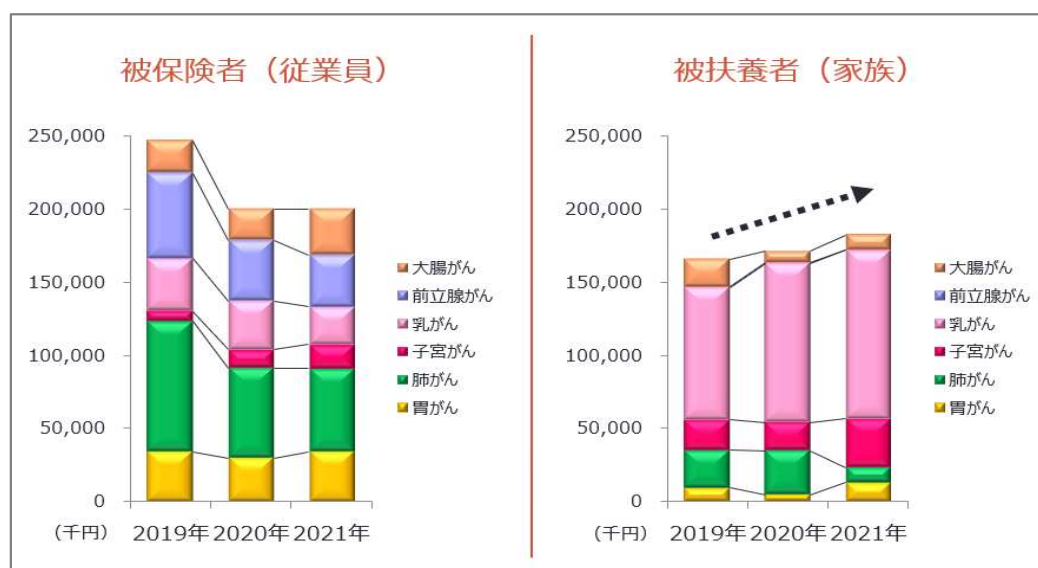
## 【がんの患者数】



## 【がんの受療率推移（他健保比較）】



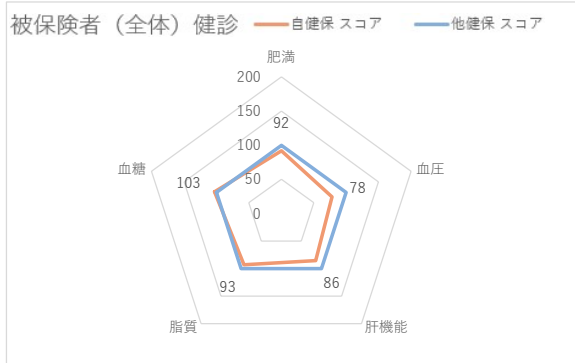
## 【がんの医療費】



1.被保険者（全体）健診

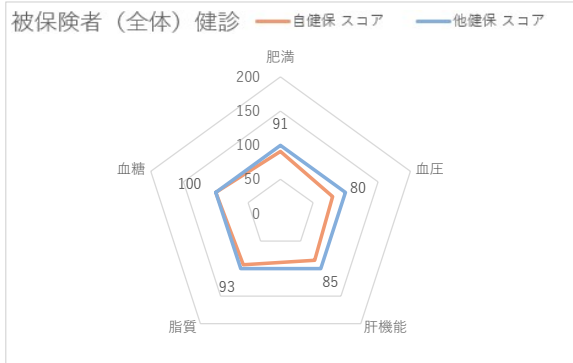
■2020年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	92	78	86	93	103
	非リスク者数	7,213人	7,135人	7,852人	10,340人	9,289人
	リスク者数	6,665人	6,740人	6,026人	3,538人	4,588人
	リスク者割合	48.0%	48.6%	43.4%	25.5%	33.1%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	44.2%	37.9%	37.2%	23.7%	34.0%



■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	91	80	85	93	100
	非リスク者数	7,401人	7,674人	8,194人	10,818人	9,329人
	リスク者数	6,801人	6,507人	6,003人	3,379人	4,866人
	リスク者割合	47.9%	45.9%	42.3%	23.8%	34.3%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	43.5%	36.7%	35.9%	22.1%	34.3%



■2022年度

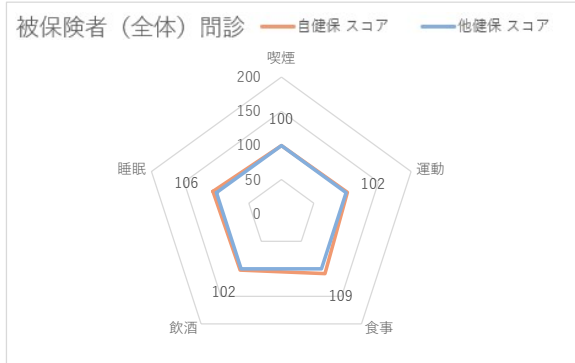
		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	89	83	84	93	100
	非リスク者数	7,396人	7,960人	8,471人	10,986人	9,350人
	リスク者数	6,921人	6,357人	5,847人	3,332人	4,965人
	リスク者割合	48.3%	44.4%	40.8%	23.3%	34.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	43.1%	36.9%	34.3%	21.7%	34.7%



2.被保険者（全体）問診

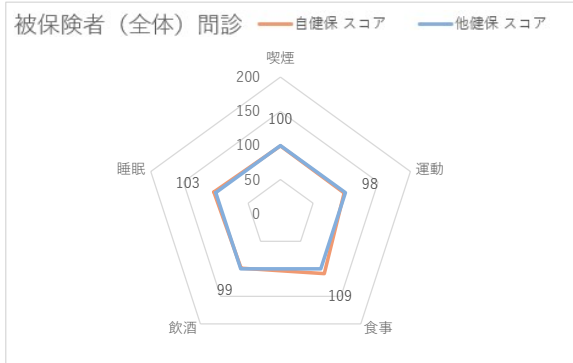
■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	100	102	109	102	106
	非リスク者数	9,916人	2,221人	5,510人	8,541人	4,991人
	リスク者数	3,956人	5,053人	1,806人	807人	2,506人
	リスク者割合	28.5%	69.5%	24.7%	8.6%	33.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	28.3%	69.9%	30.8%	10.8%	37.0%



■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	100	98	109	99	103
	非リスク者数	10,205人	4,295人	10,406人	12,477人	9,016人
	リスク者数	3,935人	9,763人	3,485人	1,621人	5,042人
	リスク者割合	27.8%	69.4%	25.1%	11.5%	35.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	27.5%	68.8%	31.1%	10.3%	37.6%



■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	100	97	109	98	101
	非リスク者数	10,379人	4,461人	10,497人	12,504人	8,735人
	リスク者数	3,879人	9,689人	3,608人	1,703人	5,413人
	リスク者割合	27.2%	68.5%	25.6%	12.0%	38.3%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	26.9%	67.6%	31.6%	10.5%	38.6%



### 3.被保険者（男性）健診

#### ■2020年度

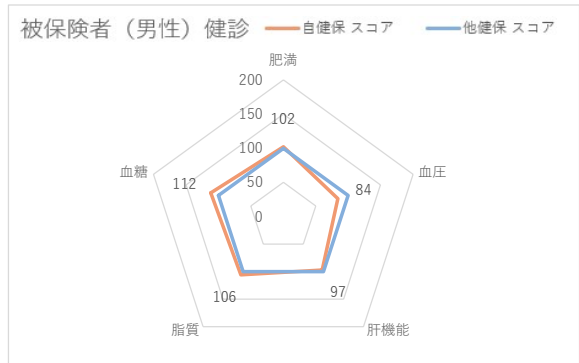
		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	102	84	97	106	112
	非リスク者数	5,867人	5,965人	6,357人	8,719人	7,869人
	リスク者数	6,214人	6,113人	5,724人	3,362人	4,211人
	リスク者割合	51.4%	50.6%	47.4%	27.8%	34.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	52.5%	42.5%	46.0%	29.4%	39.0%

#### ■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	102	87	97	106	110
	非リスク者数	6,045人	6,477人	6,689人	9,131人	7,913人
	リスク者数	6,313人	5,864人	5,664人	3,222人	4,438人
	リスク者割合	51.1%	47.5%	45.9%	26.1%	35.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	51.9%	41.1%	44.4%	27.5%	39.4%

#### ■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	100	89	96	106	109
	非リスク者数	6,017人	6,720人	6,937人	9,297人	7,919人
	リスク者数	6,456人	5,753人	5,537人	3,177人	4,552人
	リスク者割合	51.8%	46.1%	44.4%	25.5%	36.5%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	51.5%	41.2%	42.4%	27.0%	39.8%



### 4.被保険者（男性）問診

#### ■2020年度

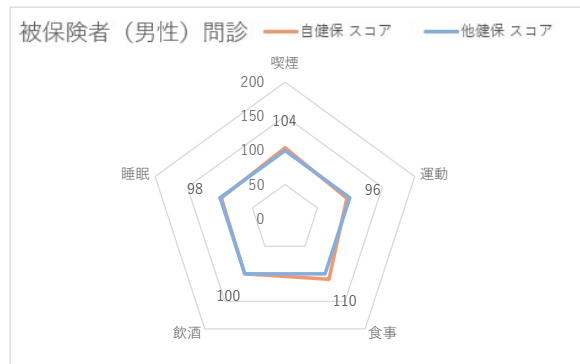
		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	104	103	109	104	104
	非リスク者数	8,244人	1,967人	4,485人	7,194人	4,199人
	リスク者数	3,753人	4,127人	1,517人	772人	1,970人
	リスク者割合	31.3%	67.7%	25.3%	9.7%	31.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	33.8%	68.5%	31.7%	13.6%	34.8%

#### ■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	104	97	109	100	101
	非リスク者数	8,544人	3,894人	8,981人	10,700人	7,968人
	リスク者数	3,759人	8,333人	3,086人	1,561人	4,260人
	リスク者割合	30.6%	68.2%	25.6%	12.7%	34.8%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	33.0%	67.3%	32.0%	13.1%	35.3%

#### ■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	104	96	110	100	98
	非リスク者数	8,713人	4,010人	9,116人	10,724人	7,736人
	リスク者数	3,705人	8,309人	3,165人	1,647人	4,584人
	リスク者割合	29.8%	67.4%	25.8%	13.3%	37.2%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	32.4%	65.9%	32.4%	13.3%	36.1%

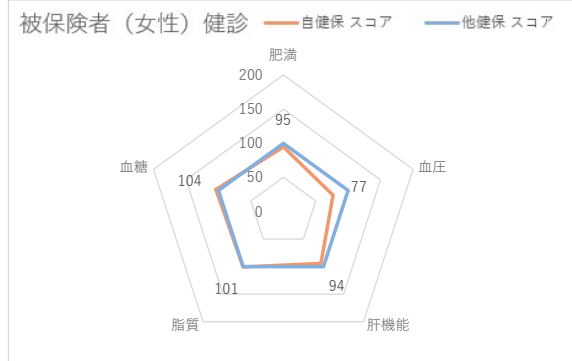




## 5.被保険者（女性）健診

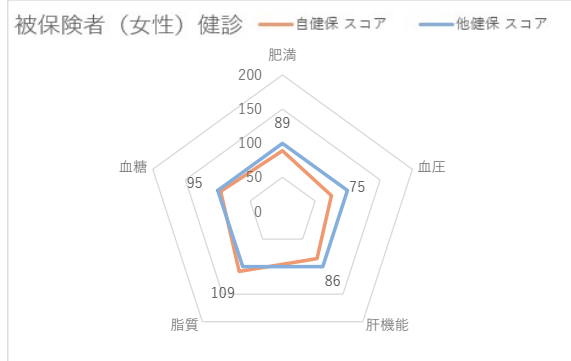
### ■2020年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	95	77	94	101	104
	非リスク者数	1,346人	1,170人	1,495人	1,621人	1,420人
	リスク者数	451人	627人	302人	176人	377人
	リスク者割合	25.1%	34.9%	16.8%	9.8%	21.0%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	23.8%	26.8%	15.8%	9.9%	21.8%



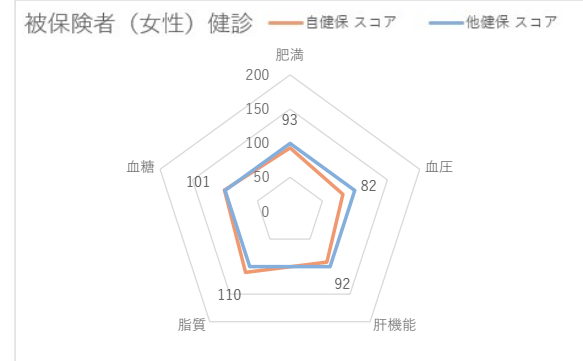
### ■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	89	75	86	109	95
	非リスク者数	1,356人	1,197人	1,505人	1,687人	1,416人
	リスク者数	488人	643人	339人	157人	428人
	リスク者割合	26.5%	34.9%	18.4%	8.5%	23.2%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	23.6%	26.3%	15.7%	9.2%	22.1%



### ■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	93	82	92	110	101
	非リスク者数	1,379人	1,240人	1,534人	1,689人	1,431人
	リスク者数	465人	604人	310人	155人	413人
	リスク者割合	25.2%	32.8%	16.8%	8.4%	22.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	23.5%	26.8%	15.4%	9.3%	22.7%



## 6.被保険者（女性）問診

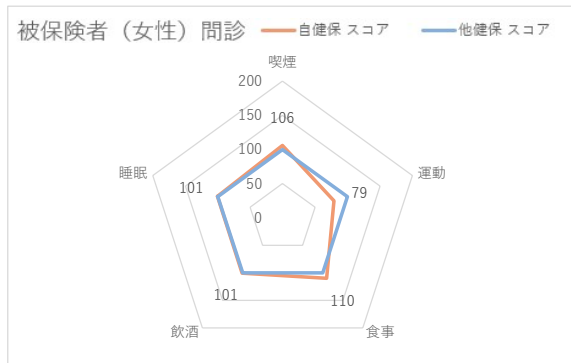
### ■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	105	81	109	101	104
	非リスク者数	1,672人	254人	1,025人	1,347人	792人
	リスク者数	203人	926人	289人	35人	536人
	リスク者割合	10.8%	78.5%	22.0%	2.5%	40.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	15.1%	73.4%	28.5%	4.0%	42.4%



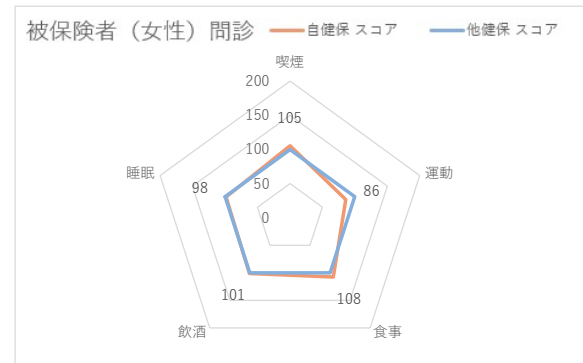
### ■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	106	79	110	101	101
	非リスク者数	1,661人	401人	1,425人	1,777人	1,048人
	リスク者数	176人	1,430人	399人	60人	782人
	リスク者割合	9.6%	78.1%	21.9%	3.3%	42.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	14.6%	72.3%	29.0%	3.8%	43.1%



### ■2022年度

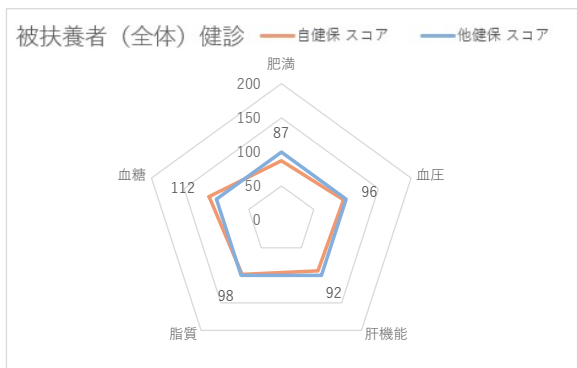
		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	105	86	108	101	98
	非リスク者数	1,666人	451人	1,381人	1,780人	999人
	リスク者数	174人	1,380人	443人	56人	829人
	リスク者割合	9.5%	75.4%	24.3%	3.1%	45.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	14.2%	71.4%	29.7%	4.0%	44.5%



7.被扶養者（全体）健診

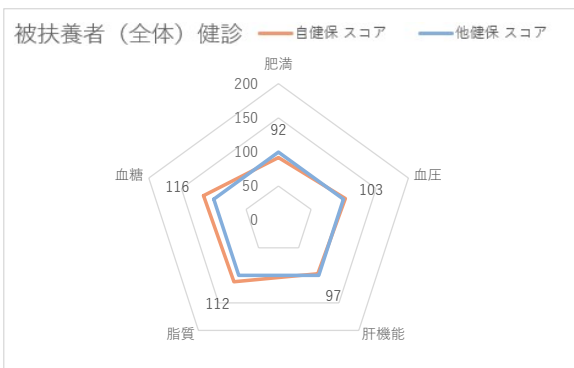
■2020年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	87	96	92	98	112
	非リスク者数	3,686人	3,445人	4,041人	4,407人	3,891人
	リスク者数	1,237人	1,479人	882人	516人	1,026人
	リスク者割合	25.1%	30.0%	17.9%	10.5%	20.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	21.9%	28.8%	16.4%	10.3%	23.3%



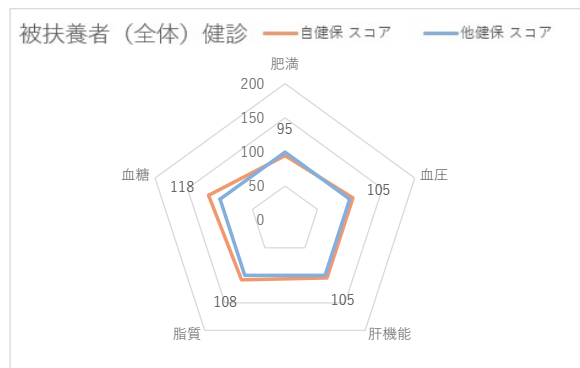
■2021年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	92	103	97	112	116
	非リスク者数	3,742人	3,536人	4,076人	4,467人	3,934人
	リスク者数	1,171人	1,378人	837人	445人	975人
	リスク者割合	23.8%	28.0%	17.0%	9.1%	19.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	21.9%	28.8%	16.6%	10.1%	23.0%



■2022年度

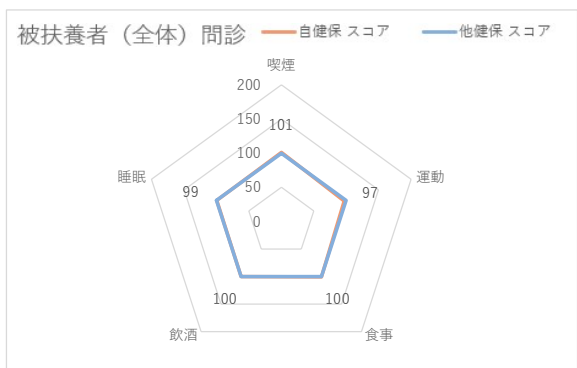
		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	95	105	105	108	118
	非リスク者数	3,792人	3,544人	4,161人	4,468人	3,951人
	リスク者数	1,133人	1,381人	764人	455人	970人
	リスク者割合	23.0%	28.0%	15.5%	9.2%	19.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	21.8%	29.4%	16.2%	10.0%	23.3%



8.被扶養者（全体）問診

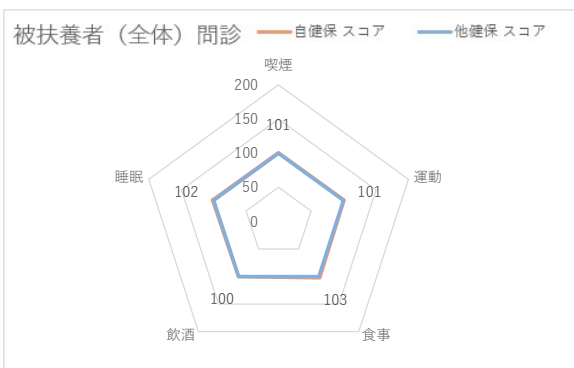
■2020年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	101	97	100	100	99
	非リスク者数	4,649人	1,591人	4,049人	4,718人	3,414人
	リスク者数	275人	3,224人	780人	133人	1,425人
	リスク者割合	5.6%	67.0%	16.2%	2.7%	29.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.5%	65.9%	16.5%	2.8%	29.0%



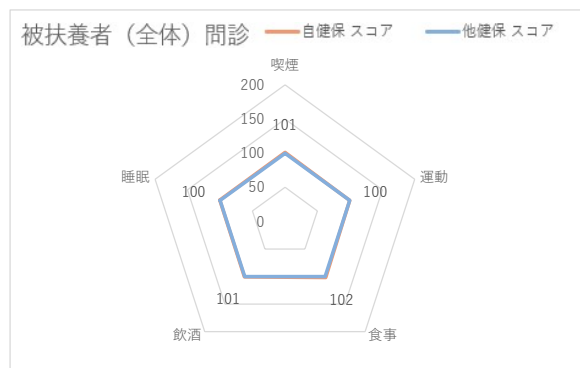
■2021年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	101	101	103	100	102
	非リスク者数	4,629人	1,707人	4,134人	4,760人	3,501人
	リスク者数	281人	3,189人	738人	141人	1,392人
	リスク者割合	5.7%	65.1%	15.1%	2.9%	28.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.4%	65.4%	17.2%	2.9%	29.8%

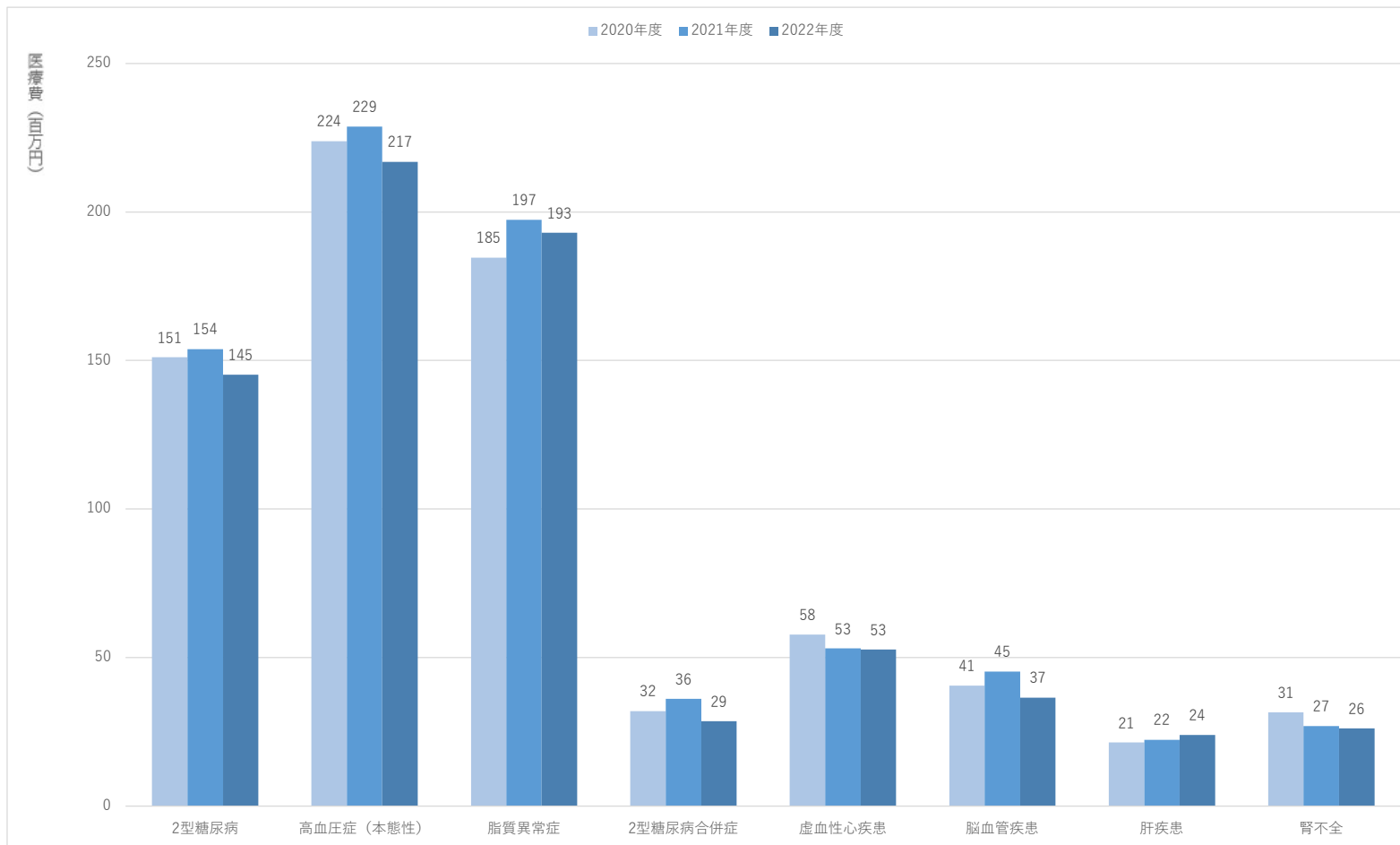


■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	101	100	102	101	100
	非リスク者数	4,671人	1,758人	4,115人	4,803人	3,420人
	リスク者数	254人	3,155人	787人	113人	1,495人
	リスク者割合	5.2%	64.2%	16.1%	2.3%	30.4%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.3%	64.1%	17.5%	3.1%	30.7%



生活習慣病医療費推移 ※医科（DPC含む）・調剤レセプト・疑い除く・按分医療費



	医療費（百万円）			加入者数（人）			実患者数（人）			受療率（%）		
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度
2型糖尿病	151	154	145	52,809人	52,651人	51,295人	3,030人	3,066人	3,058人	6%	6%	6%
高血圧症（本態性）	224	229	217	52,809人	52,651人	51,295人	5,473人	5,503人	5,495人	10%	10%	11%
脂質異常症	185	197	193	52,809人	52,651人	51,295人	6,478人	6,288人	6,210人	12%	12%	12%
2型糖尿病合併症	32	36	29	52,809人	52,651人	51,295人	538人	533人	507人	1%	1%	1%
虚血性心疾患	58	53	53	52,809人	52,651人	51,295人	825人	845人	768人	2%	2%	1%
脳血管疾患	41	45	37	52,809人	52,651人	51,295人	798人	786人	797人	2%	1%	2%
肝疾患	21	22	24	52,809人	52,651人	51,295人	1,657人	1,682人	1,712人	3%	3%	3%
腎不全	31	27	26	52,809人	52,651人	51,295人	263人	290人	334人	0%	1%	1%

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア, イ	IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診ばなれが顕著である。	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな受診奨励の実施（LINE、電話、BCCによるリマインドメール等職制経由）</li> <li>受診環境の整備（契約医療機関・健診会場の検討）</li> <li>申込しやすい方法を検討する</li> </ul>	✓
2	ア, ウ	特定保健指導は、積極的・動機付け支援ともに、終了者は増加しているが、一方で対象者がそれを上回って増加している。保健指導を実施しても、40歳以上の改善者が増えないこと、40歳未満からの流入が影響している。	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>40歳未満の流入を防止するため、R6年度より現行の特定保健指導は、全面外部委託とし、事業所保健師は40歳未満の疾病予防に注力する。</li> <li>第四期特定保健指導実施計画より、アウトカム評価が導入され、成果が求められることから、効果のあるプログラムを検討し実施する。</li> <li>対象者のリテラシー向上のため、複数のプログラムからの選択制にして、実施率と成果の上がる仕組みを検討する。</li> </ul>	✓
3	ア, エ, オ, カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。</li> <li>年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。</li> <li>1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。</li> <li>「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>健保独自の受診奨励だけでは、対象者の行動変容に結びつかないため、事業所へ協力を要請し、職制を通じての受診奨励等を検討する。</li> <li>被扶養者に対しては、特にがん健診の2次健診の受診勧奨を強化していく。</li> </ul>	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者は男女比率は、およそ男性:女性=82:18であり、男性が多く、加入者の構成割合は、50歳台前半が一番多い。	➔	加入者構成から、5~10年後に医療費増大する可能性が高い。
2	約半数が母体企業に所属しており、事業主の拠点が全国に点在している。	➔	拠点が点在していることから、事業主と連携した対策を検討する必要がある。

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率は高く、特に被扶養者の特定健診受診率は70%台と高い。</li> <li>特定保健指導も実施率は65%と高い。</li> <li>がん予防事業は受診率が低下傾向にある。特に若年層の受診率が低い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診、特定保健指導ともに実施率が高いため、引き続き実施率の向上を目指す。</li> <li>がんの受療率が低下傾向にあり、受診勧奨も含めた重症化予防を強化する必要がある。</li> <li>保健事業の効果測定は、単年度や短い期間では測れない部分が多いため、経年分析を強化する必要がある。</li> <li>リスクが高い者への対策として、事業主とさらに連携を強化する必要がある。</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・ヘルスリテラシーの向上
- ・医療費の適正化
- ・生活習慣病の重症化予防

### 事業全体の目標

- ・事業所への医療費データの提供による情報共有
- ・コラボヘルス体制の構築

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

特定健康診査事業	コラボヘルスの推進（事業所レポートの提供，各種情報の提供，協力要請等）
予算措置なし	事業主との情報交換 ①事業主（㈱IHI：安健G）・健保定期連絡会 ②健康管理事業推進委員会（事業主・労組・健保）

#### 加入者への意識づけ

特定保健指導事業	IHIグループ健康チャレンジキャンペーン（健康ポータルサイト活用）
特定保健指導事業	健康ポータルサイト運用（ICTを活用した情報提供）
特定保健指導事業	加入者等へのインセンティブ付与（ヘルスケアポイント）
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知

#### 個別の事業

特定健康診査事業	IHIグループ総合健診 特定健診（被扶養者および任意継続被保険者）
特定健康診査事業	IHIグループ総合健診 特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	被扶養者の特定健診受診率向上対策（パート先等健診受診者のデータ授受）
特定保健指導事業	IHIグループ健康サポート特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	IHIグループ健康サポート特定保健指導（被扶養者）
疾病予防	IHIグループ総合健診 前立腺がん検査（被保険者）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	自治体がん検査
疾病予防	電話健康相談
疾病予防	IHIグループ総合健診 基本健診＋選択できる検査：被扶養者
疾病予防	IHIグループ総合健診 選択できる検査（婦人科検査）：女性被保険者
疾病予防	重症化予防（特定保健指導対象者の新規流入防止）
直営保養所	直営保養所
その他	契約保養所

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標													アウトカム指標							
職場環境の整備																				
特定健康診査事業	1	既存	コラボヘルスの推進(事業所レポートの提供、各種情報の提供、協力要請等)	全て	男女	18～74	加入者全員	3	ア,エ,ケ,シ	ア,イ,ウ	全事業所に対し、自部門(健康推進グループ)の全職員が各担当事業所に情報提供を実施する。	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	・健康課題の共有と対策の検討 ・各種情報の提供、協力要請等	事業所に対して医療費状況等を提供することにより、事業所の健康状況の傾向を理解していただき、疾病予防や健康経営に向けた取り組みを促進してもらう。	IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。  特定保健指導は、積極的・動機付け支援とともに、終了者は増加しているが、一方で対象者がそれを上回って増加している。保健指導を実施しても、40歳以上の改善者が増えないこと、40歳未満からの流入が影響している。  ・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。 ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。	
																				各事業所への医療費情報の提供 (【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)全事業所への医療費情報の提供(原則：1回/年の訪問)
予算措置なし	1	既存	事業主との情報交換 ①事業主(関IHI:安健G)・健保定期連絡会 ②健康管理事業推進委員会(事業主・労組・健保)	母体企業	男女	18～74	被保険者	1	ケ,シ,ス	ア,イ,ウ,シ	①母体企業の健康担当部門と定期的な情報交換の場を持つことによりコラボヘルスを推進させる目的で、2～4回/年に開催する。議題は、保健事業に関することを中心としてコラボヘルスに関わる内容。 ②会社・労組・健保との連絡会を2回/年開催。議題は上記①と基本的には同様の内容だが、従業員の代表として労組が参加する。	①母体企業の安健G長・産業医・健康担当SM(保健師)と健保組合の常務理事・健康推進G長・健康推進G担当者で開催。 ②上記メンバーに加えて、労組役員3名が参加。	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	・保健事業の進捗状況報告 ・新規保健事業の検討・提案 ・各種事業の事業所への協力要請 ・事業所からの報告及び提案 ・労組からの報告及び提案	①定期的な開催(2回/月)により事業主との良好な関係を構築し、コラボヘルスを推進する。 ②定期的な開催(2回/年)により事業主・労組(従業員代表)と情報交換・意見交換を実施し、良好な保健事業を推進させる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
加入者への意識づけ																				
特定保健指導事業	2,5,7,8	既存	IHIグループ健康チャレンジキャンペーン(健康ポータルサイト活用)	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,エ,キ,ケ	ア,コ	・健康ポータルサイト「Pep Up」の登録者が対象 ・ポピュレーションアプローチの一環として実施 ・三者協賛(会社・労組・健保)で開催し、事業所経由で全従業員を対象に働きかける。 ・同サイトで既設の健康アクティビティコースの内、ウォーキングラリーを設定し、年2回(5月、10月)生活習慣病の改善に取り組む。 ・キャンペーン期間、各人がサイト上に歩数を入力する。 ・達成状況によりインセンティブ(ヘルスケアポイント)を付与する。	・三者(会社・労組・健保)協賛により運営を企画検討し、実施内容を決定後、実施要領等を各事業所の担当者で連絡・調整を実施する。 ・獲得したヘルスケアポイント数に応じて各商品と交換が可能。	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・運動習慣のきっかけづくり ・職場コミュニケーションの活性化	・IHIグループとして全員参加で健康文化をつくる取り組み ・健康ポータルサイト「Pep Up」を活用した実施方法で、従業員を対象として実施している。健康習慣のきっかけづくりを支援することにより、健康への意識レベルの向上を目指す	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
2,5,7	既存	健康ポータルサイト運用(ICTを活用した情報提供)	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,エ	・対象者(被保険者)へ案内通知 ・希望者に対して外部委託業者の健康ポータルサイト「Pep Up」から、ID・PWを配信 ・希望者が登録することで利用可能	ア,イ,ケ	・HPや各事業所担当者へPR ・対象者(被保険者)へ案内通知 ・登録率向上のため定期的に登録率を事業所へ発信	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	外部委託業者の運営する健康ポータルサイト「Pep Up」の導入により、医療費状況の提供、ジェネリックの差額通知、各個人の健康年齢通知や健康情報の提供、当組合からの情報提供や年間を通じた健康アクティビティの利用等が可能となった。被保険者における当サイトへの登録率向上により、加入者のヘルスリテラシーを向上させていく。	各事業所へ登録率や未登録者の定期的な周知、HPでPR、事業所訪問等での各種PRにより、加入者の登録率を上げる。	<p>IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。</p> <p>・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。 ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</p>	
登録率(【実績値】68.9% 【目標値】令和6年度:70.0% 令和7年度:70.5% 令和8年度:71.0% 令和9年度:71.5% 令和10年度:72.0% 令和11年度:72.5%)登録率を段階的に向上させる。												加入者(被保険者)のヘルスリテラシー向上や有効な情報提供をするためには、当サイトの登録を如何に増やすかが目的であるため、アウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
2	既存	加入者等へのインセンティブ付与(ヘルスケアポイント)	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア	・健康ポータルサイト「Pep Up」の登録者が対象 ・各種のインセンティブを設定 ・自動付与と一括付与の2種類	ア,イ,ケ	・委託業者と連携し各種付与を実施(自動付与及び一括付与)	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	ポイント付与が可能となる対象者は、健康ポータルサイト「Pep Up」登録者のみとなるため、まずは登録者をできる限り増やすことが先決である。そのうえで各種の健康に関わるインセンティブを設定することで、個人の健康づくりの取組を促す。インセンティブの内容、毎年振り返り、より良いものを検討して決定する。	加入者のヘルスリテラシー向上のための事業である。該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
獲得総ポイント数増加率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度:10% 令和7年度:10% 令和8年度:10% 令和9年度:10% 令和10年度:10% 令和11年度:10%)アウトプット指標を当初の総獲得ポイント数より、令和2年度よりポイント増加率の指標へ変更する。												加入者のヘルスリテラシー向上のための事業であるため、効果検証は設定しない。(アウトカムは設定されていません)								
保健指導宣伝	5	既存	ホームページ	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	【目的】健康保険制度や健保事業の情報発信 【概要】 ・健保事業運営全般のPR ・各種届出帳票をダウンロードにより提供	シ	内容に関し変更および新規掲載が必要な際に、各グループより提案する。	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	・随時更新 ・迅速な更新とタイムリーな情報提供	健康保険制度や健保事業の情報発信	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
年間アクセス数(【実績値】79,543回 【目標値】令和6年度:80,000回 令和7年度:81,000回 令和8年度:82,000回 令和9年度:83,000回 令和10年度:84,000回 令和11年度:85,000回)被保険者・被扶養者の健保事業への関心度の指標とする。 令和5年度末の実績値:2022/6～2023/5												具体的な効果測定は困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ス	・対象となる被保険者、被扶養者の情報をWEBにて被保険者へ通知(Pep Up登録者に限る) ・内容:医療機関名、医療費の額等 ・発行回数:毎月 ・費用はPep Upの基本費用に含まれる	シ	外部委託(関JMD C)にて実施	医療費通知の実施	医療費通知の実施	医療費通知の実施	医療費通知の実施	医療費通知の実施	医療費通知の実施	医療費に関する意識向上のため医療費通知を送付する。	<p>・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。 ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</p>	
医療費通知の実施(年間)((【実績値】12回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)WEBにて被保険者へ毎月通知												加入者の意識向上は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	キ,ス	通知内容: ・がん・精神疾患・HIVを除く、全ての疾病を対象 ・新薬との差額 ・ジェネリック取扱い薬局紹介 ・WEB通知 ・配信:毎月 ・費用はPep Upの基本費用に含まれる。	シ	WEB通知を外部委託(関JMD C)にて実施。	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック差額通知の実施	ジェネリック医薬品への切替え促進のため、ジェネリック差額通知を実施	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
差額通知発行(年間)(【実績値】12回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)基準該当者全員にWEB通知で毎月実施												ジェネリック使用割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:85.0% 令和7年度:85.5% 令和8年度:86.0% 令和9年度:86.5% 令和10年度:87.0% 令和11年度:87.5%)2022年度年間平均:82.85%							

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存(法定)	IHIグループ総合健診特定健診(被扶養者および任意継続被保険者)	全て	男女	40~74	基準該当者	1	イ,ウ,キ	コ,シ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診案内を全対象者へ自宅発送</li> <li>・希望する、しないに関わらず、ハガキまたはWEBにて回答。回答状況は契約事業者から申込み状況を把握する。</li> <li>・希望者は、巡回方式と指定医療機関方式のどちらかを選択</li> <li>・未回答者へは、SMS等を利用した受診奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診会場は、巡回方式か指定医療機関方式を希望者の選択制で実施</li> <li>・巡回健診:ウィーメックス(株)が契約している健診実施業者(男性の任継被保険者を除く)</li> <li>・指定医療機関:ウィーメックス(株)の指定する全国の各医療機関</li> </ul>	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	IHIグループ総合健診として実施し、現状の高い受診率の維持と生活習慣病の予防と早期発見を目指す。	70%台の高い受診率を維持し、生活習慣病の予防および改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。</li> <li>・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。</li> <li>・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。</li> <li>・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。</li> <li>・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</li> </ul>

-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:5.0% 令和7年度:4.8% 令和8年度:4.6% 令和9年度:4.4% 令和10年度:4.2% 令和11年度:4.0%) (参考値:R4年度5.2%)						
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

特定健康診査事業	3	既存(法定)	IHIグループ総合健診特定健診(被保険者)	全て	男女	40~74	基準該当者	3	イ,ウ,エ,オ	ア,イ,ウ,コ,シ	事業主が実施する定期健診に、特定健診項目を付加して実施(任意継続被保険者を除く)。	各事業所の実施方法による。	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	健診結果データの確実な受領と対象除外者の確認を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主が実施した特定健診結果の確実な受領</li> <li>・対象除外者(妊産婦、海外居住者、6ヶ月以上の入院等)を事業所に調査依頼し、受診率の更なる向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。</li> <li>・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。</li> <li>・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。</li> <li>・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。</li> <li>・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</li> </ul>

-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:18.0% 令和7年度:17.5% 令和8年度:17.0% 令和9年度:16.5% 令和10年度:16.0% 令和11年度:15.5%) (参考値:R4年度18.7%)						
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--

特定健康診査事業	2,8	既存	被扶養者の特定健診受診率向上対策(パート先等健診受診者のデータ授受)	全て	男女	20~74	被扶養者、基準該当者	1	キ,ク,シ,ス	ケ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合の健診未受診の回答理由で「パート先で受診」、「かかりつけ医での受診」、理由のない「受けない」人等と回答した方に対して、健診結果の提供をお願いします。</li> <li>・外部委託で実施</li> <li>・対象者へ郵送、電話等で結果提供を依頼</li> <li>・受領後、委託業者でデータ加工して健保へ提供される</li> <li>・インセンティブは付与なしで実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健保より対象者データを委託業者へ送信</li> <li>・業者より各対象者へ郵送、電話等で依頼</li> <li>・対象者は、委託業者へデータ提供</li> <li>・インセンティブ無し</li> </ul>	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診の被保険者受診率向上対策の一環として、総合健診を受けない理由で「パート先で受診」「かかりつけ医での受診」理由のない「受けない」と回答があった方から健診結果を受領し、受診率UPにつなげる。また、対象を20歳以上に拡大し、健診情報の保有量を増やし、分析等に活用する。	特定健診を受けているにもかかわらず健診結果の受領に至らない対象者等に働きかけ、被扶養者の受診率の向上に努める。若年層の健診結果データを保有し、分析等に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。</li> <li>・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。</li> <li>・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。</li> <li>・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。</li> <li>・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。</li> </ul>

-												-						
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--



予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																			
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度												
アウトプット指標												アウトカム指標																				
特定保健指導事業	4,5	既存(法定)	IHIグループ健康サポート特定保健指導(被保険者)	全て	男女	40～74	基準該当者	3	イ,エ,キ,ク,サ,ス	・特定健診の結果により, 特定保健指導の階層化を実施し, 対象者(動機づけ支援・積極的支援)を選定 ・対象者はリスト化して, 外部専門業者へ送付し実施を依頼 ・プログラムは選択制 ・面談方法はICTによる面談を導入・推奨する。	ア,イ,ウ,ケ,コ,シ	・R6年度から外部専門業者に全面委託。 ・原則, 個人申込みとなるため, 未申込がある場合は, 事業所からもフォローを実施。	実施率向上と対象者の減少	実施率向上と対象者の減少	実施率向上と対象者の減少	実施率向上と対象者の減少	実施率向上と対象者の減少	実施率向上と対象者の減少	第4期特定健診等実施計画に基づき, 成果のある特定保健指導を実施していく。	特定保健指導は, 積極的・動機付け支援ともに, 終了者は増加しているが, 一方で対象者がそれを上回って増加している。保健指導を実施しても, 40歳以上の改善者が増えないこと, 40歳未満からの流入が影響している。 ・被保険者, 被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では, 特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。 ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は, 未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。												
																					特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 66.0% 令和7年度: 66.5% 令和8年度: 67.0% 令和9年度: 67.5% 令和10年度: 68.0% 令和11年度: 68.5%)事業所への保健指導実施強化の協力要請(参考値: R4年度65.5%)											
																					特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 26.5% 令和7年度: 28.5% 令和8年度: 30.5% 令和9年度: 32.5% 令和10年度: 34.5% 令和11年度: 36.5%)特定保健指導対象者の減少率(%)UPを目指す。(参考値: R4年度24.5%)											
																					腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 23.0% 令和7年度: 23.5% 令和8年度: 24.0% 令和9年度: 24.5% 令和10年度: 25.0% 令和11年度: 25.5%) (参考値: R2年度22.9%*厚生労働省モデル実施)											
疾病予防	3	既存	IHIグループ総合健診前立腺がん検査(被保険者)	全て	男性	50～74	加入者全員	3	ウ	・原則, 事業主が実施する定期健診時に同時実施(50歳以上の被保険者) ・被扶養者は, IHIグループ総合健診のオプション項目として実施	コ	・事業主健診と同時実施につき前立腺検査の実施費用のみ健保が負担。	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	IHIグループ事業所健診のオプション項目にて効率的に実施(一部の事業所は例外)	前立腺がんの早期発見と早期治療のために, 前立腺がん検査を実施。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)												
																					特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 50.0% 令和7年度: 50.5% 令和8年度: 51.0% 令和9年度: 51.5% 令和10年度: 52.0% 令和11年度: 52.5%)委託業者への保健指導実施率向上への働きかけ(参考値: R4年度49.9%)											
																					特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 33.0% 令和7年度: 34.0% 令和8年度: 35.0% 令和9年度: 36.0% 令和10年度: 37.0% 令和11年度: 38.0%)特定保健指導対象者の減少率(%)UPを目指す。(参考値: R4年度32.4%)											
																					腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 23.0% 令和7年度: 23.5% 令和8年度: 24.0% 令和9年度: 24.5% 令和10年度: 25.0% 令和11年度: 25.5%) (参考値: R2年度22.9%*厚生労働省モデル実施)											
特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 6.4% 令和7年度: 6.2% 令和8年度: 6.0% 令和9年度: 5.8% 令和10年度: 5.6% 令和11年度: 5.4%) (参考値: R4年度6.6%)												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 6.4% 令和7年度: 6.2% 令和8年度: 6.0% 令和9年度: 5.8% 令和10年度: 5.6% 令和11年度: 5.4%) (参考値: R4年度6.6%)																				
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 33.0% 令和7年度: 34.0% 令和8年度: 35.0% 令和9年度: 36.0% 令和10年度: 37.0% 令和11年度: 38.0%)特定保健指導対象者の減少率(%)UPを目指す。(参考値: R4年度32.4%)												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 33.0% 令和7年度: 34.0% 令和8年度: 35.0% 令和9年度: 36.0% 令和10年度: 37.0% 令和11年度: 38.0%)特定保健指導対象者の減少率(%)UPを目指す。(参考値: R4年度32.4%)																				
腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 23.0% 令和7年度: 23.5% 令和8年度: 24.0% 令和9年度: 24.5% 令和10年度: 25.0% 令和11年度: 25.5%) (参考値: R2年度22.9%*厚生労働省モデル実施)												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 23.0% 令和7年度: 23.5% 令和8年度: 24.0% 令和9年度: 24.5% 令和10年度: 25.0% 令和11年度: 25.5%) (参考値: R2年度22.9%*厚生労働省モデル実施)																				
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度: 92.0% 令和7年度: 92.0% 令和8年度: 92.0% 令和9年度: 93.0% 令和10年度: 93.0% 令和11年度: 93.0%) (参考値: R4年度91.3%)												受診後の具体的な効果測定は困難なため(アウトカムは設定されていません)																				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
3	既存		人間ドック	全て	男女	0～74	加入者全員	1	オ,ス	・IHIグループ総合健診の補完的役割として、基本健診のほかオプション検査（脳ドック、婦人科など）についても、全国の健康保険取扱い医療機関で受診した場合、費用の一部を補助する。 ・費用の70%（含む消費税）を補助する。ただし、補助の限度額は年度内26,000円（含む消費税）とする。 ・申請は年1回限りで、被保険者が対象者の分を健康ポータルサイト「PepUp」から申請する。	ア,シ	指定医療機関はなし。全国の健康保険取扱い医療機関で受診が可能。	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	受診費用の70%の補助（限度額：年間26,000円）	総合健診の補完的役割として実施。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
利用者数(【実績値】753人 【目標値】令和6年度：775人 令和7年度：780人 令和8年度：780人 令和9年度：780人 令和10年度：800人 令和11年度：800人)-												希望者のみにつき効果検証は実施しない。(アウトカムは設定されていません)									
3	既存		自治体がん検査	全て	男女	20～74	加入者全員	1	ス	・IHIグループ総合健診の「選択できる検査」と同じ検査項目の自治体がん検査を受診した場合、費用の全額を補助する。 ・受診費用の全額を補助 ・申請は年1回限りで、被保険者が対象者の分を健康ポータルサイト「PepUp」から申請する。	シ	受診希望者が自治体検査を実施後、被保険者が対象者の分を健康ポータルサイト「PepUp」から申請する。	自治体がん検査の費用負担	自治体がん検査の費用負担	自治体がん検査の費用負担	自治体がん検査の費用負担	自治体がん検査の費用負担	自治体がん検査の費用負担	・IHIグループ総合健診の「選択できる検査（がん検査等）」の補完的役割として実施 ・基本的には現状を維持しながら、本制度の周知拡大を検討していく。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
利用者数(【実績値】12人 【目標値】令和6年度：15人 令和7年度：15人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：25人 令和11年度：30人)-												希望者のみであることと、実績は少ないので効果測定は実施しない。(アウトカムは設定されていません)									
6	既存		電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・健康管理充実の一助として、電話やインターネットで気軽に心身の健康や医療について相談できる窓口として設置 ・「健康相談（海外対応）」、「メンタルヘルスカウンセリング」、「ベストドクターの受診案内」等、単なる健康情報の提供だけではなく、メンタル・医療機関情報・育児・介護相談等、幅広く相談できるサービス体制	ア,ケ,シ	・専門家のアドバイスにより、健康に関する様々な不安や心配を解消することができる ・全国162カ所にカウンセリングルームを設置 ・プライバシーの完全厳守	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	電話健康相談窓口の提供	・健康管理充実の一助として、電話やインターネットで気軽に心身の健康や医療について相談できる窓口を設置 ・基本的には現状を維持しながら、本制度の周知拡大を検討していく。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
事業のPR(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												具体的な効果測定は困難なため。(アウトカムは設定されていません)									
3,4	既存		IHIグループ総合健診 基本健診+選択できる検査：被扶養者	全て	男女	20～74	被扶養者	1	イ,ウ,キ	・健診案内を全対象者へ自宅発送 ・対象者：基本健診（40歳未満）、選択できる検査（20歳以上の被扶養者） ・希望する・しないに関わらず、ハガキまたはWEBにて回答。回答状況は契約業者から申込み状況を把握する。 ・希望者は、巡回方式と指定医療機関方式のどちらかを選択 ・未回答者へは、SMS等を利用した受診奨励 ・選択できる検査の項目：肺がん、乳がん、子宮がん、骨密度、前立腺がん	ケ,シ	・健診会場は、巡回方式が指定医療機関方式を希望者の選択制で実施 ・巡回健診、指定医療機関：ウィーメックス（株）の指定する全国の各医療機関	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	疾病の早期発見と早期治療のため、20～39歳までの特定健診に準じた基本健診と、20歳以上の全年齢を対象とするがん検査を中心とした「選択できる検査」を希望者に対して実施する。	IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診ばなれが顕著である。 ・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている。 ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。	
受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：60.0% 令和7年度：65.0% 令和8年度：65.0% 令和9年度：70.0% 令和10年度：70.0% 令和11年度：75.0%) (参考値：R4年度59.7%)												要治療者の該当率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：19.0% 令和7年度：18.5% 令和8年度：18.0% 令和9年度：17.5% 令和10年度：17.0% 令和11年度：16.5%) (参考値：R4年度20%)									

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存		IHIグループ総合健診 選択 できる検査 (婦人科検査) : 女性被保険者	全て	女性	20～74	基準該当者	1	イ,ウ,キ,ク	・健診案内を全対象者へ自宅発送 ・希望する・しないに関わらず、ハガキまたはWEBにて回答。回答状況は契約業者から申込み状況を把握する。 ・希望者は、巡回方式と指定医療機関方式のどちらかを選択 ・検査項目：乳がん、子宮がん、骨密度 ・未回答者へは、SMS等を利用した受診奨励	ア,イ,ウ,ケ,シ	・健診会場は、巡回方式が指定医療機関方式を希望者の選択制で実施 ・巡回健診：各契約の健診実施業者 ・指定医療機関：ウィーメックス(株)の指定する全国の各医療機関	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	IHIグループ総合健診実施	疾病の早期発見と早期治療のため、20歳以上の全年齢を対象とするがん検査を中心とした「選択できる検査」を希望者に対して実施する。	IHIグループ総合健診および婦人科がん健診の受診率が減少傾向にある。特に若年層の健診はなれが顕著である。 ・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。
女性被保険者の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：42.0% 令和7年度：45.0% 令和8年度：47.0% 令和9年度：50.0% 令和10年度：52.0% 令和11年度：55.0%) (参考値：R4年度41.3%)												要治療者の該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：4% 令和7年度：4% 令和8年度：4% 令和9年度：3.8% 令和10年度：3.8% 令和11年度：3.8%) (参考値：R4年度4%)								
4	既存		重症化予防(特定保健指導対象者の新規流入防止)	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	3	イ,キ,ク,ケ,ス	健診の結果により、特定保健指導に流入する対象の予防と糖尿病や高血圧症などハイリスク疾病のD判定者で、医療機関へ未治療および治療中断者へ受診勧奨通知を送付し、重症化予防を促す	ア,イ,ウ,コ	会社保健師等の専門職の意見を参考に、対象者を階層化のうえリスト化し、外部専門業者へ委託	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	被保険者は、職制を通じての受診勧奨が有効のため、事業主へ協力を要請していく。 被扶養者は、がん健診や2次健診の受診勧奨を強化する。	会社保健師等、専門家の意見を参考にしながら外部委託を導入することにより、特定保健指導の新規流入を防止、それによる更なる実施率向上を目指す。	・被保険者、被扶養者ともに医療費は年々増加傾向にある。 ・年代別では、特に20代の若年層と70代の高額医療費が伸びている ・1次健診にて要治療者と判定された者の約半数は、未治療となっている。 ・「乳がん」「子宮がん」「大腸がん」の患者数が増加傾向にある。
実施数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												受診勧奨対象者の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30.0% 令和7年度：35.0% 令和8年度：40.0% 令和9年度：45.0% 令和10年度：50.0% 令和11年度：55.0%)対象者が医療機関を受診した率								
直営保養所	8	既存	直営保養所	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ケ,ス	・リフレッシュ、研修、家族や職場の仲間との懇親を深める、健康増進等を目的に直営保養所2か所を運営し、利用希望者は、直接保養所へ申し込む。	ア,シ	直営保養所2か所を運営 ・IHIグループ伊豆高原荘 ・IHIグループ蓼科山荘	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	被保険者および被扶養者の保養を目的に直営保養所を2か所を運営	直営保養所を2か所を運営し、被保険者および被扶養者の保養(リフレッシュ)や職場仲間との懇親を深める場とする。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用者数(【実績値】 -人 【目標値】 令和6年度：6,500人 令和7年度：6,500人 令和8年度：6,700人 令和9年度：6,700人 令和10年度：6,900人 令和11年度：6,900人)直営保養所2か所の合計												具体的な効果測定は困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
その他	8	既存	契約保養所	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ス	・被保険者および被扶養者の保養を目的に、契約保養所(四季倶楽部)を利用者が予約し、現地精算時に利用料から補助金額を差し引く	ア,シ	契約保養所(四季倶楽部)	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	被保険者および被扶養者の保養を目的に契約施設の利用料を補助	契約保養所(四季倶楽部)の補助金制度により被保険者および被扶養者の保養を目的とする。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用者数(【実績値】 -人 【目標値】 令和6年度：250人 令和7年度：250人 令和8年度：250人 令和9年度：300人 令和10年度：300人 令和11年度：300人)-												具体的な効果測定は困難なため。(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業  
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業  
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他  
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他